



# シャロンの花だより

24期の主題 新しい歌を主に向かって歌おう

～ あふれる愛を とさり人へ ～

「行ってあなたも同じようにしなさい」 ルカによる福音書10章37節

## 巻頭言

### リディアとタビタ、フェベ…、女性キリスト者への期待

聖パウロ教会牧師：小勝 奈保子



東教区内で休会している女性会が三分の一を超えた（全29教会、休会11教会、未加入1教会）。休会の主な理由は、高齢化と会員数の減少である。それらの声に耳を傾けて、連帯、歩んでいるだろうか。例外的な意見として、女性会は不要との声もある。女性会があるから女性たちが女性会に閉じ込められて、教会活動の主流に参画できない。女性会は誰でも参加できる信徒運動の一つとし、女性会自体は解消（名称を変更）してもよいのではないか。

それについて考えてみる。その一、女性会を解消して、教会に女性の居場所を確保できるのか？（現実思考型）。その二、女性会を解消することが、未来の新しい形を作っていく！（未来志向型）。

女性会連盟の活動と奉仕の働きは、戦後・高度経済成長においては、小さな者に寄り添う働き（ディアコニア）、女性の連帯、また、各教会の縁の下となって時代的役割を実現してきた。しかし、現代においては、少子高齢化、シングルの増加（未婚・離婚）、トランスジェンダー、LGBTからSOGI（Sexual Orientation and Gender Identity「性的志向・性自認」）へ、社会的状況の変化によって、従来の女性会の枠組み（既婚女性・専業主婦モデル）では収まらなくなってきている。むしろ、変化に対応しきれず変革が遅れ、結果、ジェンダー差別を助長し、教会活動における意志決定機関（役員会や全国教会総会）への女性の参画が進まない、旧態依然である。

女性会連盟の発足は1928年、今から90年前である。1923年に関東大震災が起り、1929年に世界大恐慌、1931年に満州事変、激動の時代であった。そのような時代状況を考えると女性会

連盟の働きは新しく、暗い時代に光を灯した。当時の女性に参政権はなく、日本で普通選挙が実現したのは1925年で、参政権は男性のみであった。女性が参政権を得たのは1945年の敗戦によるもので、日本国憲法の制定は、女性にとって明治民法の家制度からの解放でもあった。

2017年ジェンダー・ギャップ指数（世界経済フォーラム）で、日本は114位であった。上位には北欧諸国が多い。何が違うのか。1位のアイスランドでは、2010年クオーター制度を導入、従業員50名以上かつ取締役3名以上の国営企業と株式会社において、男女それぞれ40%以上を登用。そのため雇用や福祉、経済の政策に、子育てや介護の視点を含んだ女性の意見が入ることとなり、すなわち、両性の声を取り入れられ、バランスよく国民全体の意見を反映する社会システム、それへの評価である。

休会した教会の女性たちは教会の中で働きや居場所を無くしたであろうか。そうではなく、役員を構成するためにやむを得ず休会したとの声も聞く。議論は正論によって排除を生むが、対話は互いに意志を示し耳を傾ける。その中から生まれてくるものがある、連帯と共生はそのようにして育まれる。いろいろな意見があってもよい、違いがあってもよい。ジェンダー差別のない人権意識と人格の尊重に基づいた対話が今求められる。女性たちの行動に期待したい。

## 第24期の東教区女性会の役員が決まりました

会 長	市川 直美 (市川 教会)
副会長・文書	垣内 恵子 (諏訪 教会)
連 盟	坪本 告子 (日吉 教会)
書 記	天木 鈴子 (大岡山教会)
会 計	成田 節子 (大岡山教会)



坪本 市川 垣内 天木 成田

### 各役員のご挨拶

#### ◆ 歩みを始めて

**会 長 市川 直美**

主のみ名を賛美いたします

第24期の会長というお役をいただいてから、これまでに多くの恵みを実感致しました。三月の教区総会にてコーヒーショップの開店が最初の活動でした。各教会にメールやFAXでお知らせすると程なく数件返信が来て協力の申し出がありました。当日は三台のテーブル一杯のケーキ・ツッキー・スイーツそしてコーヒー等が賑やかに並びました。ボランティアの協力もあり会議参加者との和やかな交流のコーナーにもなっていました。私はこの活動を通して、協力とは呼掛けに対して自分のできる事や出来ない場合も答えてくださる事が心強かったことを感じました。これか

らの三年間は、皆様の祈りに支えられながら共にあることを信じ歩んでいきたいと思ひます。

私は、三才から二十年間父が亡くなるまで牧師の家庭に育ちました。幼少期にも教会の婦人会があり長老のお祖母様を中心に聖書研究会を牧師館の和室に集まって学んでいたのを思い出します。その頃から婦人会は教会の軸になっていたことを肌で感じていました。卒業後、保育の仕事を通して十年前に日本福音ルーテル市川教会に籍を置きました。女性会に参加するようになり嬉しい再会がありました。私が中高時代に青年会の方が、現在も女性会の会員で活躍して居られ感動しました。とはいえ私にとって役員の仕事はとても大きく重く感じます。こんな時、渡辺和子先生の著書『おかれた場所で咲きなさい』の言葉に励まされます。神様に委ねつつ歩んでいきたいと思ひます。

今年度の役員は五名です。女性会の働きは内へも外へも必要とされ待っていてくれる人がいます。元気に活動をしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



## 連 盟 坪本 告子

会社員でキーパンチャーの事務職をしております。長女が、ミッション系の女子大学に入学しました。入学式が、礼拝型式だったので楽しそうな雰囲気の教会に行ってみようと思ひ、自宅から一番近くにあります日本福音ルーテル日吉教会に行く様になりました。

<都を上る歌。目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。わたしの助けは来る。天地を造られた主のもとから。詩編 121 篇 1>。始めたばかりの趣味のトレッキングで山の頂上から、空を見上げると気持ちが前向きになります。富士登山が目標です。

日吉教会の女性会は、和気あいあいとした雰囲気の明るい会で、暖かな雰囲気で信仰生活を続けさせて頂きました。第24期連盟女性会の副会長と書記のお役を賜り、分らない事ばかりですが、次世代に繋げて行けるようにお役に立てればと思っております。これから、よろしくおねがいたします。



## 副会長・文書 垣内 恵子

この度、第24期東教区女性会の副会長と文書を担当することになりました垣内恵子です。現在諏訪教会に所属しています。甲信地区女性会から毎回一人の役員を出すことになっていて、今年は諏訪教会に廻ってきたというわけです。

少し説明をしますと、甲信地区は松本、長野、飯田、諏訪、それに甲府に教会があります。現在は甲府教会が女性会を脱会されていますので、4教会で役員を廻しています。3年間の任務ですから、3年×4教会ということ、12年で一回りします。大変なことですが、役をやることによって多くの学びもあるわけです。この3年間、皆様に援けていただきながらなんとかやっていきたいと思ひます。

わたしは鳥取県の生まれ、京都の学生時代に学生センターに通い、小泉潤牧師に出会いました。勧められてヘンシュル先生のデアコニッセに参加。それがきっかけとなり修学院教会で洗礼を受けました。松木傑さん(彼は後、牧師となる)がご一緒でした。二人とも大学2年生の時でしたね。

その後、教職を経て信州へ嫁ぎ現在に至ります。月刊の短歌雑誌「未来山脈」の編集発行人を始めて30年になります。(筆名・光本恵子は結婚前の名)。よろしくお祈りします。

## ◆書記の役目を引き受けて

書 記 天木 鈴子<sup>れいこ</sup>

東教区の書記をつとめます 天木鈴子です。キリスト者としては、まことに未熟ではありますが、主から与えられたこのお役を果たせるよう祈っています。天災、戦争、差別などに苦しめられていられる方々に、主の平和を求めて、どのように関わり続けていけるか。一個人としては、到底為す術が見つからない私にとって、女性会の会員として皆さんと一緒に活動できる大きな場です。この小さな力が生かされ、社会に貢献できていることに、神様に、そして教会に、この喜びを感謝する毎日です。でも、書記として必要なパソコンを習うことからスタートする私にとって、みなさまのお支えが本当にありがたく、大きな励みになっています。どうかよろしくお祈りします。



会 計 成田 節子

24 回東教区女性会総会にて、会計を担当することになりました。今まで教区女性会の集まりにあまり参加することがありませんでしたので、役員の仕事が3年も続けられるのか不安でしかありません。私のできることを、微力ながら皆様にご迷惑をおかけしないようやっつけていかなければと思っています。パソコンも苦手な私ですから、周りの人たちの手をかりながらなんとか会計の仕事をやっています。

女性会に籍を置きながら、教会内の活動中心でずっと過ごしてきました。東教区女性会の働きが少ないことで、皆のために働くようにとの励ましの言葉と受け取り、頑張っていきたいと思えます。皆様のお力をお借りして、一つ一つ前へ進めていけるよう努力してまいります。よろしくお祈りいたします。

## 24 期第 1 回東教区女性会会長会&女性の集いが行われました

日 時： 2018 年 4 月 14 日

会 場： 日本福音ルーテル大岡山教会 13 時～16 時

出席教会： 18 教会 (25 教会中) 参 加 者： 51 名

第一部 開会礼拝 奨励 小勝奈保子牧師 「召天者をおぼえて」

第二部 グループ討議

テーマ1 女性会に望むこと・・・・・・・・





- ・女性会同士の横の繋がりが必要
- ・休会の方によびかける。
- ・城北地区、甲信地区は、合同礼拝を、年1回持っている女性会の活動に関して会員の高・齢化が共通問題である。現状を肯定して、今参加している会員達に、会わせた活動が必要ではないか。その中で、皆が、楽しく自信を持って参加している様子は、若い会員たちに魅力あるものとして訴える力になるのではないか。
- ・連盟からの聖書研究は、テキストとして広く用いられている。しかし、会報はもう少し詳しく内容の説明があると良い。
- ・城南神奈川地区は、今年の7月28日に開催を予定した。
- ・活動の目標、内容、支援金の使途などを、全会員に分かりやすく説明し、もっと多くの会員の参加を増やす努力を
- ・各教会では、独自のミニバザーや、ランチサービスなどで、資金を集めて、女性会の活動を応援している所もある。



**テーマ2 3年後を見据えた活動は・・・・・・・・**

- ・現在の地区毎の当番制は、廃止の意見が大勢を占め 自薦、推薦などを取り入れて、気持ちよく決めたい。いままでの役員の皆さんが、「良い経験が出来た。働きを通じて成長できた。」「主のお力を得て働いた。」と、感想を述べられています。役を引き受けることで、自らの成長ととらえている方が多い。

**テーマ3 地区活動費の活用・・・・・・・・**

- ・まず、地区で集まりを持って交流をする。
- ・各期の第1回の集まりで、地区毎に集まって話し合う。
- ・地区の活動費(3万円)を活用する。

各教会の状況は各々違いますが一つずつ実行がされることを祈ります

**【城南神奈川地区女性会の集い】 報告 2018年9月1日**

台風の影響で延期されていた城南神奈川区の集まりが9月1日実施されました。28名の参加があり、昼食を取りながら親睦がはかられ、食事後、活動について東教区女性会に求めること等についてグループでの話し合いを行いました。

- ① 城南神奈川地区の集まりはこれからも続けて欲しいという意見が多数出ましたが、負担にならないようできる所から無理のないつながりを持つことでまとまりました。
- ② 今後、続けていくためには、複数の教会で役割分担し準備をしたら動ける人が少ない教会でもやっつけていけないのではないかと。各教会から代表を出して話し合うと長続きするのではないかと。機会が多くあれば、若い人も参加できる場が生まれる。行けることを恵みだと思ふ、等の意

見が出されました。

- ③ 東教区役員の仕事については、メンバーが新しくなると仕事の細かい所まで分からず戸惑うことがあり、アドバイザー的な存在を残すことが必要と感じました。コーヒーショップ等で会員が積極的に参加して役員の仕事軽減をはかってはどうか。若い人の女性会への加入を呼びかける。

まとめると以上のことが話し合われました。次回の会についての話し合いがなされませんでした。ピクニック、お花見、他の教会訪問等が出されたグループもありました。この会がこれからも続く様に考えて実施していきたいと思っています。(文責・)



#### 1. 会員数状況

## 東教区女性会の課題 小勝 奈保子

2. 東教区内でも休会をしている教会が 1/3 あるがなぜ休会となったのか？(高齢化、会員数の減少等) その声に耳を傾け連帯し歩みを共にしているだろうか？

例外的な意見：女性会は不要。女性会があるから女性たちが女性会に閉じ込められて、教会活動の主流に参画できずにいる。女性会は誰でも参加できる信徒運動体の一つとし、女性会自体は解消してもよい。

→女性会を解消して、教会に女性の居場所を確保できるのか？(現実思考型)

女性会を解消することが、未来の新しい形を作っていく！(未来志向型)

なぜ女性会が必要なのか？ 居場所、連帯、宣教・奉仕の働き、女性の人権と尊厳(地位向上)

3. 北海道教区女性会の解散が意味することは？

北海道の女性会(札幌教会・函館教会)との連携

教区制による全国組織のあり方を継続することができるのか？ 役員(全国・教区)の担い手不足

4. 全国女性会連盟の意義は何か？時代の変化に応じて、何を変えていくべきか？

女性会の活動・奉仕の働きは、戦後・高度経済成長においては、小さな者に寄り添う働き(ディアコニア)、女性の連帯、また、各教会の縁の下となって、時代的役割を実現してきた。しかし、現代においては、少子高齢化、トランスジェンダー、LGBT、シングルの増加(未婚・離婚)、社

会状況の変化によって、従来の女性会の枠組み（既婚女性・専業主婦モデル）では収まらなくなっている。むしろ、変化に対応しきれず、変革が遅れ、結果、ジェンダー差別を助長し、教会活動における意思決定機関（役員会、全国教会総会）への女性の参画が進まない、旧態依然である。

→日本の家父長制度の名残か？ 聖書の時代背景は父権性社会であり、そこから来るものか？

5. 全国女性会連盟の意義は何か？最大・全国区の信徒運動体教会組織との違い  
 教区制（北海道・東・東海・西・九州）

東教区（教区長・副教区長・書記・伝道奉仕部・教育部・社会部・財務・会計）

\*東教区女性会は社会部の中の位置づけ

連盟会報→信徒発信の機関誌

6. 社会へ目を向けよう

子育て、介護、老後、就労・労働問題（非正規雇用、過労死）、婚姻、離婚、被災地支援、災害対策、外国人居住者、虐待、DV、性暴力、ハラスメント、いじめ、引きこもり、自死、障がい者、医療、平和、憲法、原発問題。



## コーヒーショップを担当して

成田 節子（大岡山教会）

3月21日東教区総会と5月4日、5日全国総会にコーヒーショップを出店しました。牧師と代議員の方々による総会ですが、3月は雪交じりの雨が降り、とても寒い日となりました。

コーヒーショップの売り上げは、神学校支援のために献金することで、各協会に販売員と献品のお願いをしましたところ、ボランティアに大勢の方が来てくださり、献品もたくさん持ってきてくださいました。

初めての経験でしたので、最初は要領が分からず手間取りましたが、コーヒーを飲みに来てくださったり、ケーキやキーホルダーなど、まとめて買ってくださったりで、売り場は慌ただしいときもありました。残ったらとの心配もありましたが、完売することができほっとしました。各教会からのお手伝いに来てくださった方たちと交流することができ、心とむひとときを過ごすことができました。

コーヒーショップの仕事は、東教区女性会役員と各教会のボランティアの方たちによって支えられています。私も役員になって、この仕事を手伝うことの大変さを感じました。今まで、関わることなく済ませてきた自己反省と東教区女性会の方々が何かのかたちで順番に関わっていくことの大切さを思いました。高齢化が進む中、東教区女性



会を皆で支えていく必要を思います。できないではなく、できることを見つけて、小さな力で支えあっていかなければならないと思いました。



## 秋の女性会 「女性の集い」のお知らせ

日時 2018年10月13日(土)  
受付 午前10時より 開会礼拝 10時30分  
終了 午後3時予定

会場 日本福音ルーテル市川教会 千葉県市川市 4-1-5

\*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

開会礼拝 奨励 小勝奈保子牧師

講演 『新しい歌を歌おう』 中島康文牧師

午後 話し合い



## 今後の予定

10月13日(土) 24期第2回女性の集い

11月2日(金) ACWC 一日研修会

11月8・9日(木・金) 連盟研修会 於：ナザレ修女館

### 編集後記

新役員で臨んだ第一号でした。パソコンと格闘をしながら新しい機能が発見できたときは大喜びでした。はたまた行事に夢中で写真を撮るのを忘れてしまいドタバタしながらも構成が出来嬉しい経験でした。これからも情報を豊かにお届けしていきたいと思います。(市川) 第1回というのは戸惑うもの。今までの6名役員数から比較すると2名少ない出発です。私自身30年も短歌雑誌を編集発行しているのでだが、初めての雑誌は、それなりの型を作るのに苦勞する。次回からはこれを基本にすればよいので、もうすこしすっきりとやれるでしょう。皆様のこれまでのご協力感謝いたします。(垣内)

「シャロンの花だより」

東教区女性会会報 第 号 (24期 第1号)

発行日 2018年10月

発行人 日本福音ルーテル教会女性会連盟 東教区女性会

発行者 市川直美 編集 垣内恵子